

3. 四県共同連携事業について

(1) 文 化

〔担当：福井県〕

四県の文化は、日本海、琵琶湖、太平洋、清流長良川等に代表される自然環境や東西文化の共存・融合の中で育まれてきた。

このような豊かで多彩な四県の文化をもとに、四県の文化活動や食文化の交流を推進し、四県の県民により多様な文化に接する機会を提供するとともに、文化事業の効果的かつ効率的な展開を図ることにより、日本まんなか共和国全体の文化振興を図る。

今後の取組

文化分野については、平成14年度から平成21年度まで、毎年持ち回りで各県の都市・地域に文化首都を置き、遷都式の開催や親子文化交流など多彩な文化活動を展開した。文化首都事業によって、開催都市・地域の歴史や伝統を掘り起こし、四県県民の交流促進が図られるなど一定の成果が得られた。

平成22年度からは、松尾芭蕉を題材にした全国俳句募集、若手演奏家の交流事業を実施し、四県の多様な文化に接する機会を提供してきた。

今後も、各県が実施する全国公募事業等の広報に協力していく。

令和元年度は、東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムへの取組みや文化庁助成事業等の活用などについて、四県で情報交換を行う。

これまでの取組状況

【完了事業】

○松尾芭蕉を題材とした連携

全国俳句募集の共同実施（平成12年度～平成25年度）

各県賞を設ける等四県が共催し、年度毎にテーマを設定し、自由題とともに、全国、海外から俳句を募集する。

【平成22年度】

（募集期間）平成22年5月16日～10月18日

（テーマ）「人」

（応募総数）69,936句

【平成 23 年度】

(募集期間) 平成 23 年 5 月 16 日～10 月 18 日

(テーマ)「土」

(応募総数) 80,094 句

【平成 24 年度】

(募集期間) 平成 24 年 5 月 16 日～10 月 18 日

(テーマ)「食」

(応募総数) 95,839 句

【平成 25 年度】

(募集期間) 平成 25 年 5 月 16 日～10 月 18 日

(テーマ)「天」

(応募総数) 82,478 句

○若手演奏家の交流事業 (H23 年度)

- ・ 岐阜県のヴァイオリン演奏家→福井県へ
ふくい子ども文化祭 2011 (H23. 10. 23)
- ・ 福井県のハープ演奏家→岐阜県へ
サラマンカ 500 シリーズ (H24. 1. 28)
- ・ 三重県のハープ演奏家→滋賀県へ
BIWAKO アートフェスティバル (H24. 3. 31)

○日本まんなか共和国の文化首都事業の推進 (H14 年度～H21 年度)

文化首都を各県 2 回ずつ置き、8 年間実施。のべ参加人数、約 3 万 3 千人。

文化首都に選ばれた都市の歴史・伝統を掘り起こし、県域を越えた情報共有ができた。また、遷都式、親子文化交流、四県文化交流などを通して、開催市町村や参加者等による交流が図れた。

【平成 14 年度】 岐阜県大垣市

「大垣 2002」温故知新～歴史と文化の交流舞台～

【平成 15 年度】 福井県小浜市

「若狭おばま 2003」古往今来～<食・祭・海>文化の新たな交流～

【平成 16 年度】 三重県伊賀地域

「伊賀 2004」～ひと・たび・しぜん・こころの豊かさ～

【平成 17 年度】 滋賀県近江八幡市

「近江八幡 2005」～水・路・未来 連なる文化～

【平成 18 年度】 岐阜県美濃市

「美濃 2006」～和紙とうだつそしてあかり 文化の創造～

【平成 19 年度】 福井県越前市

「越前 2007」～越の国から文化の発信～

【平成 20 年度】 三重県東紀州地域

「東紀州 2008」時空を超えて紡ぐ文化
～世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道を歩みつつ～

【平成 21 年度】 滋賀県東近江市

「東近江 2009」～山から湖へと連なる歴史と文化～

○食文化を活かした連携

(1) 農業フェスティバルの連携 (H13～16 年度)

各県で開催される農業フェスティバルの連携を通じ、食文化の交流と相互理解を図った。

【平成 13 年度】 開催地：滋賀県 (来客者約 3 万人)

【平成 14 年度】 開催地：岐阜県 (来客者約 15.9 万人)

【平成 15 年度】 開催地：福井県 (来客者約 5.9 万人)

【平成 16 年度】 開催地：三重県 (来客者約 4.5 万人)

【平成 17、18、19、20、21 年度】

「日本まんなか共和国」ホームページにおいて、四県の食文化を紹介

(2) 各県特産魚種の増養殖技術等に関する調査研究等の交流 (H13～16 年度)

海面及び内水面に係る各県特産魚種の増養殖技術等に関する調査研究等について情報交換を行うとともに、連携事業の検討を行った。

【平成 13 年度】 開催地：福井県福井市 (H14. 3. 15)

【平成 14 年度】 開催地：岐阜県岐阜市 (H15. 1. 29)

【平成 15 年度】 開催地：三重県鈴鹿市 (H16. 3. 22)

【平成 16 年度】 開催地：滋賀県彦根市 (H17. 2. 4)

(2) 広域交通網の整備

[担当：福井県]

四県が産業、技術、観光、自然、歴史、文化など地域資源を活かした交流・連携を一層深めていくためには、圏域内の人、ものの相互の流れを今以上に拡大する高速道路や県際道路、鉄道など広域交通網の整備が不可欠であり、その早期整備に向け、四県が一致協力して取り組む。

(主な広域プロジェクト)

○ 道路関係

《高速道路》

新名神高速道路（愛知県名古屋市～兵庫県神戸市）、中部縦貫自動車道（長野県松本市～福井県福井市）、東海環状自動車道西回り区間（岐阜県関市～三重県四日市市）

《県際道路》

国道417号（岐阜県揖斐郡揖斐川町～福井県今立郡池田町）

国道421号（三重県いなべ市～滋賀県東近江市）

名神名阪連絡道路（滋賀県東近江市～三重県伊賀市）

《広域連携事業》

福井と滋賀を結ぶ旧街道を軸とする福井滋賀交流圏域における広域観光活性化計画（福井県、滋賀県）

岐阜・滋賀交流圏域における観光振興による広域的な地域活性化計画（岐阜県、滋賀県）

三重・滋賀交流圏域における広域観光活性化計画（三重県、滋賀県）

○ 鉄道関係

- ・ 草津線の複線化（滋賀県草津―三重県柘植）促進

- ・ 関西本線の複線電化（複線化：名古屋―木津（京都府）、電化：亀山（三重県）―加茂（京都府））促進

草津線・関西本線の複線電化により両線の利便性を向上

- ・ 18年10月に開業した北陸本線・湖西線の直流化（滋賀県長浜―福井県敦賀、滋賀県永原―近江塩津）、琵琶湖環状線直流化（滋賀県長浜―永原）後の利便性向上

名古屋から岐阜、米原を経由した敦賀までの新快速電車の運行など

- ・ 東海道本線の利便性向上

米原における列車接続の改善など

今後の取組

<道路関係>

道路整備に係る四県部長会議を引き続き開催するとともに、各協議会や同盟会を通じて、提言活動を実施していく。広域連携事業は、関係県においてさらに連携を図っていく。

これまでの取組状況

○道路の整備促進

- ・道路整備に係る「まんなか四県」部長会議の開催(H10年度～、H22.1.15、H22.11.22、H24.1.27、H24.11.2、H26.1.21、H26.10.29、H28.1.27、H28.12.22、H29.11.16)
- ・四県で、道路に関する共同研究を実施(H13年度～)
- ・まんなか四県(福井・岐阜・三重・滋賀)道路地図の作成(H13年度)
- ・まんなか四県道路地図の更新・裏面の作成(H18年度～19年度)

○新名神高速道路の整備促進

- ・新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会
設立(H14.6.29、H19.9.14～名称変更)
平成21年度大会・総会(H21.6.14 甲賀市かふか生涯学習館)
「新名神高速道路の全線早期整備を目指して」
提言活動(H23.1.21)
平成22年度 提言活動(H23.1.21)
平成23年度大会(H23.12.3 三重県四日市市)
提言活動(H24.2.1)
平成24年度大会(H24.8.26 滋賀県大津市)
提言活動(H25.1.31)
平成25年度大会・総会(H25.8.11 滋賀県大津市)
提言活動(H25.11.15、H26.1.30)
平成26年度総会(H26.7.10)
平成26年度大会(H26.9.20 三重県鈴鹿市)
提言活動(H27.1.16)
平成27年度総会(H27.6.12)
平成27年度大会(H27.8.30 三重県四日市市)
提言活動(H28.1.26)
平成28年度総会(H28.6.16)
平成28年度大会(H28.8.20 滋賀県大津市)
提言活動(H29.2.2)
平成29年度総会(H29.6.16)
平成29年度大会(H29.8.26 滋賀県大津市)
提言活動(H30.2.8)
平成30年度大会(H30.8.5 三重県鈴鹿市)
提言活動(H30.11.19)
- ・新名神高速道路建設促進協議会(H19.7.19～名称変更)

(H22. 6. 17、 8. 3、 11. 25、 12. 22)

平成23年度総会 (H23. 7. 13)、提言活動
(H23. 7. 13、 8. 1、 11. 29、 12. 13)

平成24年度総会 (H24. 7. 12)、提言活動
(H24. 7. 12、 8. 6、 11. 26、 11. 29)

平成25年度総会 (H25. 8. 27)、提言活動
(H25. 8. 27、 9. 13、 11. 26、 11. 28)

平成26年度総会 (H26. 7. 25)、提言活動
(H26. 7. 25、 8. 29、 11. 27、 11. 28)

平成27年度総会 (H27. 8. 24)、提言活動
(H27. 8. 24、 11. 5、 H28. 2. 3)

平成28年度総会 (H28. 8. 1)、提言活動
(H28. 8. 1、 9. 5、 9. 7、 11. 9、 11. 22)

平成29年度総会 (H29. 8. 2)、提言活動
(H29. 8. 2、 8. 24、 9. 1、 11. 8)

平成30年度総会 (H30. 8. 20)、大会 (H30. 8. 20、 10. 23)
提言活動 (H30. 8. 20、 9. 11、 10. 23、 11. 9、 12. 7)

・ 東海環状地域整備推進協議会

設立 (H8. 5. 17)

シンポジウム、フォーラム等年1回開催

平成21年度 東海環状自動車道地域整備効果PR映像製作

平成24年度 「東海環状自動車道シンポジウム」開催 (H24. 5. 11)

平成25年度 「先導的施策研修会」開催 (H26. 2. 7)

平成26年度 「現地視察研修会」開催 (H27. 1. 23)

平成27年度 「ストック効果パンフレット」製作・公表 (H27. 12. 18)

平成28年度 「東海環状自動車道シンポジウム」開催 (H28. 10. 20)

平成29年度 「東海環状自動車道シンポジウム」開催 (H29. 7. 19)

平成30年度 「東海環状自動車道シンポジウム」開催 (H31. 1. 24)

○ 名神名阪連絡道路の整備促進

・ 名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会

設立 (H14. 7. 18)

総会 (H21. 10. 2、 H22. 8. 30、 H23. 8. 17、 H24. 7. 9、 H25. 6. 27、 H26. 9. 2、
H27. 7. 23、 H28. 8. 25、 H29. 7. 10、 H30. 5. 21)

提言活動 日本海から太平洋に至る南北軸を形成し、東西方向の高速ネットワークとの連携による機能強化や広域的な交流を促進する道路として期待されていることから、本同盟会で

- 国・県に対し整備促進に向け提言活動実施
 シンポジウム (H25. 7. 27、H29. 1. 28、H30. 7. 22)
 平成 27 年度「名神名阪連絡道路建設促進大会」開催 (H28. 1. 14)
- ・名神名阪連絡道路調整会議の開催 (H17 年度～)
 (H22. 2. 4、H23. 5. 19、H23. 12. 22、H24. 3. 15、H24. 7. 26、H25. 3. 15、
 H25. 9. 3、H26. 2. 13、H26. 8. 18、H27. 3. 20、H27. 9. 1、H28. 3. 28、H28. 9. 13、
 H29. 3. 15、H29. 6. 19、H30. 1. 18)
 平成 27 年度「名神名阪連絡道路建設促進大会」開催 (H28. 1. 14)

○国道 417 号(冠山トンネル)の整備促進

- ・冠山トンネル(国道 417 号)早期開通促進期成同盟会(福井・岐阜県関係市町で構成)設立(H 元. 12. 5)
 平成 21 年度総会 (H21. 7. 16)、提言活動(H21. 8. 7)
 平成 22 年度総会 (H22. 7. 21)、提言活動(H22. 10. 30)
 平成 23 年度総会 (H23. 8. 2)、提言活動(H23. 10. 11、10. 17、12. 27)
 平成 24 年度総会 (H24. 7. 31)、提言活動(H24. 11. 7、12. 26)
 平成 25 年度総会 (H25. 7. 31)、提言活動(H25. 11. 11、12. 24)
 平成 26 年度総会 (H26. 7. 29)、提言活動(H26. 11. 7、11. 21、12. 25)
 平成 27 年度総会 (H27. 7. 31)、提言活動(H27. 10. 13、11. 6)
 平成 28 年度総会 (H28. 5. 31)、提言活動(H28. 11. 7、11. 18)
 平成 29 年度総会 (H29. 8. 10)、提言活動(H29. 10. 30、11. 7)
 平成 30 年度総会 (H30. 7. 27)、提言活動(H30. 10. 23、11. 2)

○広域連携事業の推進

- ・福井と滋賀を結ぶ旧街道を軸とする福井滋賀交流圏域における広域観光活性化計画(福井県、滋賀県)
 協議実施(H26. 6. 26、H26. 7. 11、H26. 8. 26、H27. 11. 20、H28. 11. 24、
 H29. 11. 6、H30. 11. 22)
- ・岐阜・滋賀交流圏域における観光振興による広域的な地域活性化計画(岐阜県、滋賀県)
 協議実施(H26. 9. 11、H27. 2. 19、H28. 1. 25、H29. 1. 25)
- ・三重・滋賀交流圏域における広域観光活性化計画(三重県、滋賀県)
 協議実施(H27. 5. 18、H29. 2. 9)
- ・岐阜と福井を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道、北陸自動車道を軸とする岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画
 協議実施(H28. 3. 2、H28. 8. 4、H29. 8. 30)

【完了事業】

○鉄道の整備促進(H17年度～H21年度)

第6回知事サミットの合意に基づき、四県担当課によるワーキンググループを設置し、広域プロジェクト等について、検討・協議

第7回知事サミットの合意に基づき、JR西日本及びJR東海に対して四県共同要望を実施

(これまでの会議開催状況)

- ・第1回課・室長会議 (H17.9.6、敦賀市で開催)
- ・第1回ワーキンググループ(WG) (H17.11.1、大津市で開催)
- ・第2回WG (H17.11.25、津市で開催)
- ・第3回WG (H18.2.3、岐阜市で開催)
- ・第4回WG (H18.5.25、敦賀市で開催)
- ・第2回課・室長会議 (H18.7.14、敦賀市で開催)

(検討課題：主な広域プロジェクト等)

- ①草津線の複線化促進
- ②関西本線の複線電化促進
- ③北陸本線・湖西線(琵琶湖環状線)の直流化への対応
- ④中京からの新快速電車の運行
- ⑤東海道本線の利便性向上
- ⑥俳句列車(芭蕉号)の運行

(JR西日本およびJR東海に対する四県共同要望)

- ・JR西日本 (H18.11.2)
- ・JR東海 (H19.1.23)

〈要望事項〉

- ①草津線の複線化
- ②関西本線の複線電化
- ③東海道本線の利便性向上
- ④中京からの新快速運行
- ⑤芭蕉列車の運行

(四県共同要望のフォローアップ：各県要望)

- ・JR西日本
(H21.11.9 滋賀県、H21.11.17 三重県、H21.11.19 福井県)
- ・JR東海
(H21.12.21 三重県、H22.1.15 岐阜県、H22.1.27 滋賀県)

〈要望事項〉

- ①草津線の複線化
- ②関西本線の複線電化
- ③東海道本線の利便性向上
- ④中京からの新快速運行

○国道 421 号の整備促進（H21 年度～H23 年度）

- ・ 国道 421 号整備促進期成同盟会
設立（S57. 7. 26）
関係市町幹事会開催（H21. 6. 25、12. 16）
関係市町理事会・総会開催（H21. 7. 15 毎年 1 回）
三重県・滋賀県の関係市町により整備促進を県、国に要望
県への提言活動（H21. 11. 25）
国への提言活動（H21. 11. 25、12. 1）
石樽峠道路開通（H23. 3. 26）
平成 23 年度理事会・総会（H23. 7. 27）において、解散

(3) 雇用確保対策

[担当：岐阜県]

雇用情勢は、依然として厳しい状況にあり、国と地方が連携し、経済・雇用対策に取り組んでいるところであるが、引き続き切れ目なく実効性のある対策を講じていく必要がある。

こうした状況の中、四県の施策・事業に関して意見交換、情報の共有化を図り、相互の政策立案の参考とし、地域に根ざした雇用確保対策を推進する。

今後の取組

雇用確保対策については、今後、状況の変化が生じた場合などに、必要により情報交換・共有及び共同研究会が迅速かつ円滑に実施できる体制を引き続き継続していく。

これまでの取組状況

○共同研究会の実施

各県の雇用確保対策に反映させるため、雇用対策の取組み、雇用失業情勢等についての意見交換、検討を行った。

第8回 日時：平成17年2月18日（金）13:30～15:30

場所：三重県勤労者福祉会館（三重県津市）

内容：平成17年度各県の雇用対策事業の取組み

各県ジョブカフェの事業実施状況と課題等について

国の地域雇用創造支援事業について

第9回 日時：平成18年2月21日（火）13:30～15:30

場所：TAKUMIミュージアム（岐阜市）

内容：Uターン対策の取組について

キャリア教育施策（インターンシップ等）の取組みについて

障害者就労支援対策の取組について

第10回 日時：平成19年2月6日（火）13:30～15:30

場所：岐阜県庁12南1会議室（岐阜市）

内容：ニート対策の各県の取組状況について

若年者の県外流出に対する各県の取組状況について

産業人材の育成事業の各県の取組状況について

- 第 11 回 日時：平成 20 年 2 月 4 日（月）13：30～15：00
場所：岐阜県庁 6 南 1 会議室（岐阜市）
内容：ワーク・ライフ・バランスの推進について
高年齢者の就業支援について
- 第 12 回 日時：平成 21 年 2 月 12 日（木）13：30～15：00
場所：岐阜県庁 7 北 1 会議室（岐阜市）
内容：県の緊急雇用対策について
ふるさと雇用特別交付金、緊急雇用創出事業交付金の予定事業について
- 第 13 回 日時：平成 22 年 2 月 12 日（金）13：30～15：30
場所：岐阜県庁 8 南 1 会議室（岐阜市）
内容：学卒就職未内定者の就職支援について
U・I ターン対策について
緊急雇用対策について
- 第 14 回 日時：平成 23 年 2 月 3 日（木）13：30～15：30
場所：岐阜県庁 8 南 1 会議室（岐阜市）
内容：雇用創出基金事業終了後のソフト・ランディングに係る施策について
障害者雇用対策について
国の出先機関改革について
中小企業の人材確保支援施策について
- 第 15 回 日時：平成 24 年 2 月 2 日（木）13：30～15：30
場所：岐阜県庁 12 南 1 会議室（岐阜市）
内容：新規学卒就職者の早期離職対策について
中高年齢者の就業対策について
基金事業終了後の「求職者総合支援センター」について
就職説明会の広域開催について
女性の再就業・職場復帰支援策について
- 第 16 回 日時：平成 25 年 2 月 8 日（金）13：30～15：30
場所：岐阜県庁 12 南 1 会議室
内容：工場の事業縮小等による大量離職者発生に係る対応について
産業施策と連携した雇用施策の取組について
中小企業の人材確保対策の取組について
障がい者の雇用促進施策について

※定例開催を見直し、必要に応じ提案県の主催により開催することで四県合意。(平成 26 年 3 月 11 日)

○eメールによる情報交換

- ・「若年者向けワンストップサービスセンター」についての情報交換 (H16.3)
- ・無料職業紹介事業の実施状況について (H17.6)
- ・若者の自立支援に関する事業の実施状況について (H19.1)

(4) 環 境

〔担当：三重県〕

21世紀は「環境の世紀」と言われるように、「環境」が今後の地域政策における最重要テーマのひとつとなる中で、地域の先進性を活用した「個性ある自立」を進める観点から、四県の豊かな「森林」のほか、岐阜県における「河川」、福井県及び三重県における「海洋」、滋賀県における「湖沼」など、自然的、社会的特性を活かした環境保全に関する取組みを四県で連携して行い、環境重視の地域づくりを進める先導的な圏域「環境の連携エリア」の創造を図る。

今後の取組

廃棄物不法投棄対策として、県境路上検査の共同実施や廃棄物担当監視取締連絡調整会議を引き続き開催し、四県の環境事業の連携をさらに図っていく。

これまでの取組状況

○県境路上検査の共同実施(H10年度～)

県境を越えて広域的に移動する産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理を防止するため、隣接県が共同し、県境付近において産業廃棄物運搬車両に対する路上検査を実施

平成10年度から岐阜・三重・滋賀の三県、平成12年度からは福井県が加わり、四県が共同で継続して実施

【平成20年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成20年6月～21年1月

実施箇所数 合計10箇所

【平成21年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成21年6月～21年11月

実施箇所数 合計10箇所

【平成22年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成22年6月～22年11月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 23 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 23 年 5 月～23 年 11 月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 24 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 24 年 5 月～24 年 11 月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 25 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 25 年 5 月～25 年 11 月

実施箇所数 合計 7 箇所

【平成 26 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 26 年 5 月～26 年 11 月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 27 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 27 年 6 月～27 年 12 月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 28 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 28 年 5 月～28 年 12 月

実施箇所数 合計 10 箇所

【平成 29 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各県境で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 29 年 5 月～29 年 11 月

実施箇所数 合計 12 箇所

【平成 30 年度の実施状況】

岐阜・三重・滋賀・福井の各圏域で隣接県が共同で実施

実施時期 平成 30 年 6 月～30 年 11 月

実施箇所数 合計 6 箇所

【廃棄物担当監視取締連絡調整会議の開催】（H12 年度～）

滋賀県（H20. 6. 13）

福井県（H21. 5. 21～22）

三重県（H22. 5. 20～21）

岐阜県（H23. 5. 26～27）

滋賀県（H24. 6. 15）

福井県（H25. 5. 23～24）

- 三重県 (H26. 5. 15～16)
- 岐阜県 (H27. 6. 8～9)
- 滋賀県 (H28. 6. 6～7)
- 福井県 (H29. 6. 8～9)
- 三重県 (H30. 8. 2～3)

【完了事業】

○環境に関する共同研究(H10 年度～H18 年度)

- ・ 三県共同研究「森林の環境に関する総合的研究」(H10～12 終了)
- ・ 「環境技術四県研究会」の設置 (H12. 10. 24)
研究テーマ「大気中有害化学物質に関する共同研究」(H13～15 終了)
研究テーマ「大気中粒子状物質の総合的研究」(H16～18 終了)
- ・ 環境技術四県研究会の開催 (H17. 10. 7、H18. 6. 1)
報告書作成 (H19. 3)

○子ども環境会議の開催(H11 年度～H19 年度)

四県の環境に関心のある子どもたちが集まって、環境問題を身近なものとして考え、どのように解決すればよいかについて、お互いに意見交換をすることによって環境に関する関心や意識の向上を図ることを目的に開催
【平成 19 年度】

- ・ 日 時 平成 19 年 7 月 30 日～31 日
- ・ 場 所 滋賀県 (県学習船「うみのこ」、県希望が丘文化公園青年の城、県立琵琶湖博物館)
- ・ テーマ 「一緒に考えよう、未来のいいまち、いいびわ湖」
- ・ 参加者 四県の小学 5・6 年生、合計 83 名
- ・ 四県連携での開催については、参加者の環境保全の意識の高揚など、事業の目的は一定達成したと考えられることから、平成 20 年度からは、各県独自の取組みに移行している。

○企業等の ISO14001 の認証取得支援(H13 年度)

企業向け ISO14001 認証取得支援に関する共同連携事業の実施
四県担当課で構成した「福井・岐阜・三重・滋賀四県連携企業向け ISO14001 取得推進協議会」により「ISO14001 認証取得事例集」を作成 (H13. 3 A4 版 134 ページ)

○カシノナガキクイムシによる被害対策について (H14 年度～H18 年度)

各県の被害状況や研究成果、防除対策を会議で報告し、情報の共有化を図った。

- ・ 四県担当者会議の開催 (H17. 7. 22) 会場：福井県
- ・ " (H18. 5. 26) 会場：三重県

○廃棄物対策における連携（H14年度～H18年度）

【廃棄物担当部局長会議等の開催】

- ・公共関与による産業廃棄物処理施設の整備などの課題について意見交換を行った。（H14.6.5）

【産業廃棄物不適正処理対策の強化】

- ・不適正処理対策に関する課題やその対応等について意見交換や情報交換を行った。（H17.9.8、H17.10.7、H18.4.17、H18.11.21）
- ・最終処分場の設置に関する規制等について取りまとめ、参考資料として、各県に配付した。（H19.1.15）

○水質保全対策等水環境の連携（H15年度～H16年度）

水環境問題に関する情報交換や共同連携事業等の検討、準備を行うため「水環境問題研究会」を設置

- ・「水環境づくり四県共同会議」の開催（H15.2.22～2.23）
- ・研究会の開催（H16.10.18）

○グリーン購入の共同取組

（H22年度～「びわ湖環境ビジネスマッセへの各県企業の出展」に統合）

【平成20年度の実施状況】

- ・グリーン購入の共同取組に関する検討会開催（H20.8.25）
- ・「びわ湖環境ビジネスマッセ2008」に日本まんなか共和国として共同出展し、グリーン購入のPRを行った。

【平成21年度の実施状況】

- ・グリーン購入の共同取組に関する検討会開催（H21.8.26）
- ・「びわ湖環境ビジネスマッセ2009」に日本まんなか共和国として共同出展し、グリーン購入のPRを行った。

○間伐対策等における連携（平成17年度～平成21年度）

間伐の促進及び間伐材の利用促進を図るため、間伐等のコスト縮減や、間伐特措法による特定間伐等促進計画の推進等をテーマに、意見交換を行った。

- ・6県（富山、長野県を含む。）担当者会議の開催（H17.7.14～15、H17.12.13～14）
- ・8県（富山、石川、長野、愛知県を含む。）担当者会議の開催（H18.6.7～8、H18.11.1～2、H19.8.30～31、H19.11.15～16）
- ・9県（富山、石川、長野、愛知、奈良県を含む。）担当者会議の開催（H20.7.22～23、H20.11.13～14、H21.8.31～9.1、H21.12.17～18）

○環境林づくりへの取組み（平成17年度～平成21年度）

森林の公益的機能発揮のため、「環境林」における森林の公的整備について、意見交換を行った。

- ・ 6 県（富山、長野県を含む。）担当国会議の開催
（H17. 7. 14～15、H17. 12. 13～14）
- ・ 8 県（富山、石川、長野、愛知県を含む。）担当国会議の開催
（H18. 6. 7～8、H18. 11. 1～2、H19. 8. 30～31、H19. 11. 15～16）
- ・ 9 県（富山、石川、長野、愛知、奈良県を含む。）担当国会議の開催
（H20. 7. 22～23、H20. 11. 13～14、H21. 8. 31～9. 1、H21. 12. 17～18）

○びわ湖環境ビジネスメッセへの各県企業の出展

（平成 17 年度～平成 27 年度）

平成 10 年から滋賀県立長浜ドームにおいて開催

- ・ 平成 20 年 11 月 5～7 日 出展者 276 者（うち四県企業・87 者）
来場者 36,270 人
- ・ 平成 21 年 10 月 21～23 日出展者 305 者（うち四県企業・131 者）
来場者 38,970 人
- ・ 平成 22 年 10 月 20～22 日出展者 313 者（うち四県企業・119 者）
来場者 36,580 人
- ・ 平成 23 年 10 月 19～21 日出展者 308 者（うち四県企業・114 者）
来場者 37,280 人
- ・ 平成 24 年 10 月 24～26 日出展者 297 者（うち四県企業・137 者）
来場者 35,500 人
- ・ 平成 25 年 10 月 24～26 日出展者 314 者（うち四県企業・117 者）
来場者 34,740 人
- ・ 平成 26 年 10 月 22～24 日出展者 316 者（うち四県企業・156 者）
来場者 35,940 人
- ・ 平成 27 年 10 月 21～23 日出展者 302 者（うち四県企業・141 者）
来場者 33,080 人

(5) 職員研修

[担当：滋賀県]

地方分権の推進などの大きな社会的潮流の中で、地方自治体の自立が求められていることから、相互に各県の先進的分野を学び、政策形成能力の向上を図るため、職員育成について連携して取り組む。

今後の取組

引き続き、土木部門における交流研修の実施などにより共通する課題の解決に向けた専門技能の向上をめざす。

これまでの取組状況

○土木部門における交流研修

- 「第 29 回滋賀県土木技術研究発表会」(H19.12.20)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 1 名、三重 3 名参加
- 「第 32 回滋賀県土木技術研究発表会」(H22.12.22)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 2 名、三重 2 名、岐阜 3 名参加
- 「第 33 回滋賀県土木技術研究発表会」(H23.12.22)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 1 名、三重 1 名、岐阜 2 名参加
- 「第 34 回滋賀県土木技術研究発表会」(H24.12.27)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 3 名、三重 1 名、岐阜 1 名参加
- 「第 35 回滋賀県土木技術研究発表会」(H25.12.26)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、三重 1 名、岐阜 1 名参加
- 「第 36 回滋賀県土木技術研究発表会」(H26.12.19)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、三県からの参加なし
- 「第 37 回滋賀県土木技術研究発表会」(H27.12.22)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 4 名、岐阜 1 名参加
- 「第 38 回滋賀県土木技術研究発表会」(H28.12.22)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、福井 2 名、三重 1 名参加
- 「第 39 回滋賀県土木技術研究発表会」(H29.12.22)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、岐阜 1 名参加
- 「第 40 回滋賀県土木技術研究発表会」(H30.12.21)
- ・滋賀県で開催した技術研修に、三県からの参加なし

【完了事業】

○職員研修所における交流研修(H11 年度～H19 年度)

【平成 16 年度】

岐阜県「協働事業推進講座」(H17. 2. 16～18)

(各県 8 名参加)

三重県「地方分権時代における県の文化政策のあり方」(H17. 2. 2～4)

(福井・三重・滋賀各 8 名、岐阜 7 名参加)

【平成 17 年度】

福井県「リスクマネジメント講座」(H17. 8. 10～8. 12)

(福井・三重各 5 名、岐阜 4 名、滋賀 8 名参加)

滋賀県「攻めの行政評価」(H17. 9. 7～9. 9)

(福井・三重各 4 名、岐阜 6 名、滋賀 6 名参加)

【平成 18 年度】

三重県「文化を活用した県の戦略づくり」(H18. 7. 19～7. 21)

(福井・滋賀各 4 名、岐阜 5 名、三重 3 名参加)

岐阜県「まちづくり支援研修(産業とまちづくり・住民協働とまちづくり)」

(H18. 11. 29～12. 1)

(福井 5 名、三重 4 名、岐阜 6 名、滋賀 8 名参加)

【平成 19 年度】

福井県「地方分権時代の地域産業講座」(H19. 8. 27～8. 29)

(福井 7 名、三重・岐阜各 4 名、滋賀 5 名参加)

○職員研修所の連携による共同研究(H12 年度～H19 年度)

【平成 16 年度】

・福井・岐阜・三重・滋賀四県共同研究 (H16. 7～H17. 3)

研究テーマ 「地方分権時代における広域自治体の方向性」

研 究 生 8 名 (各県 2 名ずつ×4 県)

指 導 教 官 関西学院大学教授 小西砂千夫氏

【平成 17 年度】

・福井・岐阜・三重・滋賀四県共同研究 (H17. 7～H18. 3)

研究テーマ 「21 世紀の地域自治を確立するための法制度研究」

研 究 生 8 名 (各県 2 名ずつ×4 県)

指 導 教 官 同志社大学政策学部教授・大学院総合政策科学研究科
教授 今川晃氏

【平成 18 年度】

・福井・岐阜・三重・滋賀四県共同研究 (H18. 6～H19. 3)

研究テーマ 「自治体におけるアウトソーシングの新たな展開」

研 究 生 8 名 (各県 2 名ずつ×4 県)

指 導 教 官 関西学院大学専門職大学院
経営戦略研究科教授 稲澤克祐氏

【平成 19 年度】

・福井・岐阜・三重・滋賀四県共同研究 (H19. 7～H20. 2)

研究テーマ 「少子高齢化社会における地域医療のあり方について」

研 究 生 8 名 (各県 2 名ずつ× 4 県)
助 言 者 { 日本医科大学医療管理学教室 主任教授 長谷川 敏彦氏
日本医科大学医療管理学教室
リサーチレジデント(長寿科学振興財団) 石原 明子 氏
横須賀市都市政策研究所 研究員 浅野 昌彦 氏

○交通基盤整備のための共同研究 (H15 年度～H19 年度)

- ・ 四県道路地図をベースに、交通圏・観光圏について調査研究
- ・ 「まんなか四県道路地図」を作成 (平成 19 年度)

○人事交流 (H12 年度～H29 年度)

- ・ 各県の先進的分野へ研修生の派遣を行った。(別表 1)

別表 1

派遣先 派遣元	福井県	岐阜県	三重県	滋賀県
福井県	H12		交流産業課	-
	H13		交流産業課	商工振興課
	H14		交流産業室	新産業創造・改革支援チーム
	H15		交流産業室、道路建設課	政策推進チーム
	H16		道路建設課	政策推進室
	H17		情報システム課	危機管理総務室
	H18		情報企画課	危機管理総務室
	H19		情報企画課	高速道・道路企画室
	H20		情報企画課	高速道・道路企画室
	H21		道路建設課	観光・交流室
	H22		道路建設課	観光・交流室
	H23		商業流通課	-
	H24		商業流通課	-
	H25		-	道路企画課
H26		-	道路企画課	
H27		-	道路企画課	
H28		-	-	
H29		-	-	
岐阜県	H12	観光振興課	廃棄物対策課	環境政策課
	H13	観光振興課	廃棄物対策課	環境政策課
	H14	観光振興課	廃棄物・化学物質チーム	環境政策課 2人
	H15	観光振興課、道路建設課	廃棄物対策チーム	環境管理課
	H16	道路建設課	廃棄物対策室	環境管理課
	H17	観光振興課	高速道・道路企画室	環境管理課
	H18	観光振興課	高速道・道路企画室	エコライフ推進課
	H19	販売開拓課	森林振興室	環境政策課、道路課
	H20	販売開拓課	森林・林業経営室	道路課
	H21	高規格道路推進課	産業集積室	-
	H22	高規格道路推進課	産業集積室	-
	H23	ふるさと営業課	高速道・道路企画室	-
	H24	ふるさと営業課	高速道・道路企画室	-
	H25	-	-	道路課
H26	-	-	道路課	
H27	-	-	道路課	
H28	-	-	道路課	
H29	-	-	-	
三重県	H12	-	地域振興課	環境政策課
	H13	産業技術情報課	地域計画政策課	新産業振興課
	H14	産業技術情報課	地域計画政策課	新産業振興課
	H15	政策推進課	総合政策課	河港課
	H16	地域産業・技術振興課	総合政策課	河港課
	H17	市町村課	道路建設課	NPO活動促進室
	H18	市町村課	道路建設課	NPO活動促進室
	H19	高規格道路推進課	県産材流通課	健康福祉政策課
	H20	高規格道路推進課	県産材流通課	健康福祉政策課
	H21	環境政策課	情報産業課	道路課
	H22	環境政策課	情報産業課	道路課
	H23	-	道路建設課	観光交流局
	H24	-	道路建設課	観光交流局
	H25	高規格道路推進課	-	-
H26	高規格道路推進課	-	-	
H27	-	道路建設課	-	
H28	-	道路建設課	-	
H29	-	-	道路課	
滋賀県	H12	-	行政管理課	政策評価推進課
	H13	消防防災課	行政管理課、情報政策課	政策評価推進課
	H14	消防防災課	情報政策課	行政システム改革チーム
	H15	消防防災課	情報政策課	公共事業政策チーム
	H16	危機対策・防災課	情報政策課	公共事業政策チーム
	H17	道路建設課	情報政策課	マーケティング室
	H18	道路建設課	情報企画課	マーケティング室
	H19	危機対策・防災課	情報企画課、道路建設課	産業支援室
	H20	危機対策・防災課	道路建設課	商工振興室
	H21	危機対策・防災課	-	高速道・道路企画室
	H22	危機対策・防災課	-	高速道・道路企画室
	H23	高規格道路推進課	-	フードイノベーション課
	H24	高規格道路推進課	-	フードイノベーション課
	H25	-	道路建設課	-
H26	-	道路建設課	-	
H27	-	-	道路企画課	
H28	-	-	道路企画課	
H29	-	-	道路企画課	

(6) 都市から地方への移住交流促進

〔担当：滋賀県〕

日本の人口はいよいよ減少に転じ、過疎や高齢化などにより、地方においては都市部との経済力格差の一層の拡大や、地域社会の活力の低下などが危惧される。

また一方で、ゆとりと豊かさを実感し、安心して暮らすことのできる社会の実現を目指すべき時代を迎え、豊かな自然環境に恵まれた地方は、新しい生活を実現するための移住先として期待されている。

地域の自立と活性化につなげていくため、四県が連携して移住関連施策を検討し、その実践に取り組む。

今後の取組

○移住や交流居住を促進するための情報発信

今後、団塊世代が大量に定年退職を迎える中で、都市住民のなかには、移住や二地域居住などの交流の対象地として農村など地方への関心が高まりつつある。一方で、地方側としても、このニーズをくみ取り、移住などを促進することは、過疎や少子高齢化などの地域課題の解決にもつながる。

そこで、都市住民に多様な選択肢を提供するために、四県が共同で情報発信等を実施する。

これまでの取組状況

○都市住民へ向けての共同キャンペーン

- ・ J O I N & まんなか共和国～田舎暮らしセミナー～

日時：平成 22 年 1 月 24 日（日）

場所：大阪府大阪市（大和ハウス工業(株)本社）

主催：日本まんなか共和国（福井県・岐阜県・三重県・滋賀県）

J O I N（移住・交流推進機構）

内容：基調講演 塩見直紀氏（半農半 X 研究所）

パネルディスカッション 4 県への移住実践者が体験を語る

田舎暮らし相談会

- ・ 日本まんなか共和国「ふるさと暮らし相談会 in 名古屋」

日時：平成 25 年 3 月 23 日（土）

場所：愛知県名古屋市（ウイנקあいち）

○都市から地方への移住交流促進のための情報交換

各県が実施する「都市から地方への移住交流支援」や連携事業の実施などについて、取組内容を情報交換し、各県の施策に活かす。

- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 22 年 3 月 18 日
場所：生活体験施設「さきち」（滋賀県長浜市木之本町）
内容：連携事業の実施評価について
各県の取組内容についての情報交換
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 22 年 7 月 26 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の移住・交流施策について
平成 22 年度四県連携事業について
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 24 年 2 月 1 日
場所：田舎暮らし体験施設「寺吉」（滋賀県長浜市木之本町）
内容：各県の取組内容についての情報交換
次年度の四県連携事業について
いざない湖北定住センターの取組紹介
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 24 年 11 月 14 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の移住・交流施策についての情報交換
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 25 年 11 月 13 日
場所：いざない湖北定住センター（滋賀県長浜市朝日町）
内容：各県の取組内容についての情報交換、空き家物件の現地視察
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 26 年 10 月 22 日
場所：彦根勤労福祉会館「たちばな」

内容：各県の取組内容についての情報交換、空き家改修の現地視察

- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 27 年 11 月 25 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の取組内容および今後の四県共同連携事業についての情報交換等
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 28 年 8 月 22 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の取組内容および今後の四県共同連携事業についての情報交換等
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 29 年 7 月 21 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の取組内容および今後の四県共同連携事業についての情報交換等
- ・「日本まんなか共和国」連携事業四県担当者情報交換会議の開催
期日：平成 30 年 7 月 18 日
場所：滋賀県湖東合同庁舎（滋賀県彦根市元町）
内容：各県の取組内容および今後の四県共同連携事業についての情報交換等

(7) 鳥獣害対策

[担当：福井県]

四県では、イノシシ、サル、シカ等の野生鳥獣による農作物の被害が多く発生している。

野生鳥獣による被害は、営農意欲の衰退をもたらすなど、農山漁村の暮らしに深刻な影響を与えている。

各県で取り組んでいる鳥獣害対策の実効性を上げていくため、四県が連携して調査研究を進めていくとともに、県境を越えた広域的な対策を進めていく。

今後の取組

平成 22 年度に四県による「まんなか鳥獣害対策研究会」を設置し、次の事項について、検討、協力等を継続的に行う。

- ・ 野生鳥獣の広域的な調査
- ・ 効果的な被害防除・捕獲方法
- ・ 鳥獣被害の把握方法
- ・ 指導者育成
- ・ 獣肉利活用の推進
- ・ 国への提案要望 など

これまでの取組状況

【平成 22 年度】

(1) 第 1 回研究会（まんなか鳥獣害対策研究会の設置）

- ・ 開催日 平成 22 年 5 月 24 日
- ・ 場 所 滋賀県彦根市
- ・ 内 容 研究会の持ち方について協議を行ったほか、各県で進めている対策の情報交換、今後連携して進める具体的な内容について協議を行った。
- ・ 参加者数 16 名

(2) 指導者育成研修

- ・開催日 平成 22 年 7 月 2 日
- ・場 所 福井県越前町
- ・内 容 滋賀県で行われている集落環境点検の手法を福井県に取り入れるため、滋賀県の職員を講師に招き、各出先事務所の現地指導チーム員がその手法を学んだ。
- ・参加者数 35 名

(3) 第 2 回研究会

- ・開催日 平成 22 年 7 月 22 日
- ・場 所 福井県福井市
- ・内 容 クマの出没に関係の深い堅果類の豊凶調査を、四県が連携して行うことについて協議を行った。
- ・参加者数 9 名

(4) 第 3 回研究会

- ・開催日 平成 23 年 2 月 10 日
- ・場 所 福井県美浜町・小浜市
- ・内 容 シカを効率的に捕獲するため、福井県で開発・実証を行っている大型捕獲柵およびドロップネットについて、設置現場で検討を行った。
- ・参加者数 14 名

【平成 23 年度】

(5) 第 4 回研究会

- ・開催日 平成 23 年 6 月 16 日
- ・場 所 三重県津市
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換を行った。
 - ・堅果類調査、大量捕獲器、サル対策について
- ・参加者数 18 名

(6) 第 5 回研究会

- ・開催日 平成 23 年 8 月 31 日
- ・場 所 滋賀県高島市
- ・内 容 集落ぐるみの活動で、シカの防除と捕獲、サルの追い払い等に成果を上げている取組事例を現地で学び、シカおよびサルの被害対策の検討を行った。
- ・参加者数 20 名

(7) 第6回研究会

- ・開催日 平成24年1月31日
- ・場所 岐阜県揖斐川町
- ・内容 岐阜県が取り組んでいる樹皮剥ぎ対策研究、岐阜県型総合獣害防止柵（猪鹿無猿柵）について検討を行った。
- ・参加者数 21名

【平成24年度】

(8) 第7回研究会

- ・開催日 平成24年7月18日
- ・場所 福井県敦賀市
- ・内容 堅果類の豊凶調査、有害獣の処理方法、市町村の圏域を越えた捕獲の実施体制について検討を行った。
- ・参加者数 17名

(9) 第8回研究会

- ・開催日 平成25年2月13日
- ・場所 三重県津市
- ・内容 獣肉の衛生管理、ジビエの普及について検討を行った。
- ・参加者数 15名

【平成25年度】

(10) 第9回研究会

- ・開催日 平成25年7月23日
- ・場所 滋賀県大津市
- ・内容 各県からの課題提供による情報交換を行った。
 - ・鳥獣被害防止緊急捕獲等事業の実施方針、ジビエの普及、鳥獣害対策における試験研究の取組みや出先機関の関わりについて
- ・参加者数 13名

(11) 第10回研究会

- ・開催日 平成26年1月24日
- ・場所 岐阜県美濃加茂市、富加町
- ・内容 鳥獣被害防止総合対策交付金への対応や、岐阜県型総合獣害防止柵（猪鹿鳥無猿柵）について検討を行った。
- ・参加者数 14名

【平成 26 年度】

(12) 第 11 回研究会

- ・開催日 平成 26 年 7 月 16 日
- ・場 所 福井県敦賀市、若狭町
- ・内 容 捕獲した個体の処分方法、改正鳥獣保護法への対応、
焼却処理・食肉加工施設について検討を行った。
- ・参加者数 16 名

(13) 第 12 回研究会

- ・開催日 平成 27 年 1 月 28 日
- ・場 所 三重県伊賀市
- ・内 容 ジビエ振興、市町村域を超えた捕獲体制、サル対策用
防護柵、I C T を活用した大型捕獲檻等について検討を
行った。
- ・参加者数 14 名

【平成 27 年度】

(14) 第 13 回研究会

- ・開催日 平成 27 年 8 月 5 日
- ・場 所 滋賀県大津市
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換を行った。
 - ・指定管理鳥獣捕獲等事業の進捗状況について
 - ・ニホンザル保護管理体制について
 - ・市町村に対する指導・助言体制について
 - ・侵入防止柵の更新費用の助成について
- ・参加者数 17 名

(15) 第 14 回研究会

- ・開催日 平成 28 年 1 月 29 日
- ・場 所 岐阜県揖斐郡揖斐川町
- ・内 容 平成 28 年度予算での新規事業等の意見交換および課題
の検討、ジビエ解体処理施設視察を行った。
- ・参加者数 15 名

【平成 28 年度】

(16) 第 15 回研究会

- ・開催日 平成 28 年 8 月 5 日
- ・場 所 福井県福井市
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換を行った。
 - ・平成 28 年度鳥獣被害防止総合対策交付金について
 - ・シカ生息頭数の削減に向けた取組状況について
 - ・モンキードックの活用による獣害対策について
 - ・生息状況・被害状況・捕獲に関する情報の広域共有について
- ・参加者数 14 名

(17) 第 16 回研究会

- ・開催日 平成 29 年 1 月 18 日
- ・場 所 三重県伊賀市
- ・内 容 解体処理施設および同施設で実証実験中の減容化装置の見学、各県からの課題提供による情報交換を行った。
 - ・平成 29 年度予算での新規事業等について
 - ・防護柵を県境に設置する際の課題について
 - ・実施隊の選抜基準等について
 - ・野生獣の生活被害への対応について
- ・参加者数 15 名

【平成 29 年度】

(18) 第 17 回研究会

- ・開催日 平成 29 年 8 月 10 日
- ・場 所 滋賀県長浜市
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換および防護柵の設置や管理に関する地区の取組みについて視察を行った。
 - ・野生鳥獣による農作物被害金額の算出手法について
 - ・費用対効果の算出根拠の県基準について
 - ・有害捕獲報償金にかかる確認方法等について
 - ・カワウによる被害の状況と対策の方向性について
 - ・侵入防止柵で囲えない道路部分等での有効な侵入防止技術について
 - ・獣肉の利活用について
- ・参加者数 18 名

(19) 第 18 回研究会

- ・開催日 平成 30 年 2 月 7 日
- ・場 所 岐阜県美濃加茂市
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換および広域でのカ
ワウ対策にかかる取組みについて視察を行った。
 - ・侵入防止柵の所有権移転にかかる課題等について(災
害復旧事業対象関係)
 - ・会計検査院からの改善処置要求への対応について
 - ・処理加工・処分にかかる広域的取組みについて
 - ・指定管理鳥獣捕獲等事業における確認方法について
 - ・指定管理鳥獣捕獲等事業実施上の課題について
 - ・鳥獣交付金緊急捕獲活動支援事業にかかる確認事項
の県内統一について
 - ・30年度の新規事業や新たな取組みについて
- ・参加者数 12名

【平成 30 年度】

(20) 第 19 回研究会

- ・開催日 平成 30 年 11 月 2 日
- ・場 所 三重県菰野町
- ・内 容 各県からの課題提供による情報交換および地域ぐるみ
の総合的な鳥獣害対策について視察を行った。
 - ・侵入防止柵の仕様について
 - ・侵入防止柵の点検・管理について
 - ・クマの錯誤捕獲対応について
 - ・ジビエの利活用状況について（有害捕獲頭数に対す
る利活用割合、モデル地区選定県における県の関与
状況等）
- ・参加者数 12名

※第 1 回目の開催が、台風 20 号の影響により当初日程（8 月 23 日）から 11 月に延期となったこと、岐阜県内での豚コレラの発生が継続していることから、4 県合意のもと第 2 回目の開催を見合わせ

(8) 観 光

[担当：福井県]

四県には多様な文化財や歴史遺産が残っており、これらを観光資源として観光客の誘致を促進してきた。

特に戦国時代の人物や史跡は人気が高く、四県には戦国時代で代表的な人物のゆかりの物や史跡等が存在しているため、各県の戦国時代の人物や史跡等の地域資源を発掘し、これらの観光資源を組み合わせて、周遊性の高い観光ルートを設定するなど、まんなか共和国の魅力を発信していく。

今後の取組

- ・戦国時代をはじめ、古代、源平、近代など、様々な時代の4県の歴史的な観光資源を活用し、新たな歴史街道（回廊）として連携して、観光客や旅行会社等に対するPRを行う。

【完了事業】

○四県の「江」ゆかりの地観光ガイドマップの作成および配布

- ・完 成 平成23年3月
- ・規 格 A2四折 カラー
- ・部 数 計9,500部
- ・配布先 各県の観光案内所や各県が実施するイベント、出向宣伝等（これまでに配布・PRしたイベント等（主なもの））

春	福井県元気回復キャンペーン（神戸4/21、名古屋4/22） 滋賀県観光展「近江彩発見」（埼玉5/27-29） 岐阜県緊急キャンペーン（名古屋4/30、一宮4/23, 24, 30, 5/7, 8） がんばろう！日本東北復興支援三重県観光PR〔春〕（刈谷、4/29-5/1）
夏	福井県観光商談会（東京6/16、名古屋7/14） 特別展「江がつなぐ江戸・近江・越前」（東京7/1） 滋賀県観光展「近江彩発見」（千葉6/3-5） 被災地応援キャンペーン「鎮魂の大線香花火」（岐阜7/30）
秋	戦国武将・姫パフォーマンスコンテスト（福井9/24） 商店街と地方都市との交流物産展（東京11/9-10） 土山SA三重県観光PR〔秋〕（甲賀9/23-25） ぎふ信長まつり（岐阜、10/1-2）

○歴史観光の連携

中部広域観光オフィシャルマガジン「感動十景」春号H25.3に“焼き物街

道”を掲載（監修：中部広域観光推進協議会 編集：JTB プロモーション）

○観光情報の発信

四県の観光地（108か所）への誘客を図るため、スマートフォン用アプリ「まんなかカメラ」を制作しH25.7に公開（制作：岐阜県）

(9) 家畜伝染病対策

〔担当：滋賀県〕

平成22年度の宮崎県における口蹄疫発生や9県24農場におよぶ大流行となった高病原性鳥インフルエンザの発生によって、その感染力の強さ、被害の甚大さ、初期対応の重要性が再認識された。このような家畜伝染病のまん延防止では、隣接県をはじめとする広域的な連携が必要不可欠であることから、発生の未然防止、発生時の対応等についての情報交換を行うことで、対策の充実を図る。

今後の取組

隣県である4県において、家畜伝染病の初期対応、まん延防止を徹底するため、次の事項について、検討、協力等を行う。

○早期通報体制の確立

- ・家畜防疫に関する緊急連絡網の整備

○情報の共有化

- ・防疫マップの共有化
- ・防疫演習の相互参画

○防疫対策の強化

- ・定期的な協議会の開催
- ・人材および防疫資材の応援体制の整備

これまでの取組状況

【平成22年度】

○家畜防疫協議会規約等の制定（平成22年10月18日）

- 1) 日本まんなか共和国家畜防疫協議会規約
- 2) 日本まんなか共和国家畜防疫協議会申し合わせ
- 3) 日本まんなか共和国家畜防疫協議会緊急連絡網

○口蹄疫対策検討会の開催

日時：平成22年10月18日（月）

場所：滋賀県家畜保健衛生所会議室

内容：・防疫対応強化の連携確認について

- ・各県での取り組み内容についての情報交換

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

日時：平成22年10月18日（月）

場所：滋賀県 東近江市あかね文化センター

内容：①シナリオ方式による演習

②防疫措置の実技演習

- ・ 防疫措置の流れ
- ・ 車両の消毒（消毒マットおよび動力噴霧器での消毒）

③基調講演

「国際的調和が求められる口蹄疫対策」

鹿児島大学農学部獣医学科 教授 岡本嘉六氏

【平成23年度】

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

日時：平成23年9月12日（月）

場所：岐阜県 飛騨高山ビッグアリーナ

内容：①特別講演

「宮崎県における口蹄疫の防疫対応について」

宮崎家畜保健衛生所 生産安全課長 中田雄二氏

②机上演習

③実働演習

- ・ 異常家畜の発見・通報から検査・確定診断
- ・ 口蹄疫発生に係る防疫作業従事者の手順
- ・ 防疫措置開始から終息

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成23年10月11日（火）

場所：静岡県庁（※中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議後に開催）

内容：・早期通報体制の確認

- ・家畜保健衛生所防疫担当者による県境防疫会議の開催
- ・各県防疫資材備蓄状況一覧表の作成
- ・規約等の改正

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

（1）岐阜県開催

日時：平成23年11月4日（金）

場所：岐阜県 岐阜市シンクタンク庁舎

内容：①高病原性鳥インフルエンザの発生予防について

②初動防疫対応について

③講演

「養鶏場におけるねずみ対策について」

一般社団法人 岐阜県ペストコントロール協会

(2) 滋賀県開催

日時：平成23年11月24日（木）

場所：滋賀県 大津市県民交流センター

内容：①高病原性鳥インフルエンザ対策について

②防疫従事者の健康管理について

③講演

「高病原性鳥インフルエンザからの新型インフルエンザ
出現の可能性と防疫対策について」

京都産業大学 鳥インフルエンザ研究センター長

教授 大槻公一 氏

【平成24年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成24年10月15日（月）

場所：愛知県自治センター（※中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議後
に開催）

内容：①早期通報体制の確認

②防疫資材の応援体制の確認

③規約等の改正

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[岐阜県開催]

日時：平成24年11月7日（水）

場所：東美濃ふれあいセンター

内容：①発生想定と防疫措置等の机上演習

②サポート基地の設営等の実働演習

③消毒ポイントでの消毒実動演習

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[岐阜県開催]

日時：平成24年8月22日（水）

場所：岐阜県西濃総合庁舎

内容：①初動防疫対応時のケーススタディ

②講演

「インフルエンザに負けない」

株式会社南勢養鶏 社長 萩原 真郎 氏

[滋賀県開催]

日時：平成24年10月23日（火）

場所：コラボしが21

内容：

- ① 発生時における初動防疫の流れ
- ② 発生時における防疫従事者の健康管理
- ③ 講演

「島根県安来市における高病原性鳥インフルエンザ発生事例および移動式焼却炉使用の実際」

島根県農林水産部食料安全推進課 主任 石川 初 氏

「鳥インフルエンザを主としたインフルエンザの発生状況と対策」

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

准教授 向本 雅郁 氏

【平成25年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成25年10月17日（木）

場所：三重県松阪庁舎

- 内容：①日本まんなか共和国家畜防疫協議会事務確認
②平成24年度会議に係る申し合せ事項確認
③各県防疫装備備蓄品の確認

参加人数：5人

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成25年11月20日（水）

場所：男女共同参画センター

内容：

- ①特別講演「口蹄疫の発生およびまん延を防止するために」

宮崎大学農学部獣医学科教授 末吉益雄氏

- ②報告「口蹄疫発生時の初動防疫の流れと発生防止への取り組み」

滋賀県家畜保健衛生所 副主幹 藤井賢一

参加人数：140人（滋賀県127人、福井県2人、三重県3人）

[岐阜県開催]

日時：平成26年1月15日（水）

場所：岐阜県農業大学校

内容：

- ① 講演「宮崎県における口蹄疫発生現場での対応について」
宮崎県川南町農林水産課 押川義光課長
- ② 机上演習「口蹄疫発生時の初動防疫措置について」
- ③ 実働演習 1 「異常家畜の発見・通報から検査・確定診断」「発生農場に係る防疫作業」「防疫措置開始から終息まで」
- ④ 実働演習 2 「農場における防疫対策」

参加人数：214 人（岐阜県 186 人、三重県 9 人、福井県 1 人）

○ 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成 25 年 10 月 8 日（火）

場所：コラボしが 21

内容：

- ① 報告
「高病原性鳥インフルエンザ発生時における初動防疫の流れ」
「高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫作業従事者の健康管理」
「野鳥における鳥インフルエンザへの対応」
- ② 講演
「三重県における高病原性鳥インフルエンザ発生事例およびその後の対応」 三重県農林水産部畜産課 高山氏
「世界における鳥インフルエンザの発生状況と有効な防疫対策」
京都産業大学 総合生命科学部 教授 大槻公一氏

参加人数：166 人（滋賀県 130 人、三重県 6 人、岐阜県 1 人）

[三重県開催]

日時：平成 25 年 9 月 19 日（木）

場所：三重県人権センター

内容：

- 講演「高病原性鳥インフルエンザの防疫について」
北海道大学 迫田准教授
「三重県の防疫体制について」
中央家畜保健衛生所防疫危機管理監 藤村氏
「焼埋却作業について」
農業基盤整備課 副参事兼課長補佐兼班長 杉井氏

参加人数：156 人（三重県 152 人、岐阜県 2 人）

[福井県開催]

日時：平成25年7月10日（水）
場所：福井県消防学校・自治研修所
内容：

- ①講習
 - ・防疫対応の流れと各班の作業内容
 - ・防疫従事者の健康調査について
- ②演習
 - ・防護服の着脱
 - ・鶏の取出し方と殺処分方法
 - ・車両消毒

参加人数：173人（福井県119人、滋賀県1人、岐阜県3人）

[岐阜県開催]

日時：平成25年10月9日（水）
場所：ヒマラヤアリーナ
内容：

- ①防疫演習1「初動防疫における情報伝達訓練と防疫服着脱訓練」
 - ②講演「愛知県における鳥インフルエンザの発生とその後の対応」
愛知県西部家畜保健衛生所 兼子松義主任専門員
 - ③防疫演習2「農場における防疫対策（消毒実演）」
- 参加人数：219人（岐阜県196人、三重県11人）

【平成26年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成26年10月10日（金）
場所：滋賀県政策研修センター
内容：①日本まんなか共和国家畜防疫協議会申合せ事項の確認
②県境および広域防疫演習の開催について
③今後の協議会の方向性について
参加人数：5人（滋賀県2人、三重県1人、福井県1人、岐阜県1人）

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成26年11月26日（水）
場所：コラボしが21
内容：

- ①特別講演「2010年に発生した口蹄疫を経験して」
宮崎県都城家畜保健衛生所長 後藤俊郎氏

②報告「口蹄疫発生時の初動防疫の流れと発生防止への取り組み」
滋賀県家畜保健衛生所 職員
参加人数：91人（滋賀県75人、福井県1人、三重県1人）

[三重県開催]

日時：平成26年9月18日（木）

場所：県営総合競技場体育館

内容：

①講演の部「宮崎県における口蹄疫発生当時の防疫対応について」

講師：宮崎県宮崎家畜保健衛生所 黒木昭浩 病性鑑定課長

②演習の部

1) 初動：農家通報から対策本部及び現地対策本部の立ち上げ

2) 家畜搬出まで：農場手前の防護服着用から農場内の防疫作業

3) トラック資材：トラック資材管理・防疫フェンス設置状況確認

4) 消毒ポイント：車両消毒・消毒ポイントの運営

参加人数：161人（三重県144人、滋賀県2人、岐阜県3人）

[岐阜県開催]

日時：平成26年11月21日（金）

場所：JAひだ本店、飛騨家畜流通センター

内容：

①机上演習

1) 宮崎県における口蹄疫発生現場での対応について～岐阜県からの派遣職員による活動報告～家畜保健衛生所職員

2) 口蹄疫発生時の初動防疫措置及び実動演習の概要について

②実動演習

1) 集合場所及び仮設テントの設営

2) 仮設テントでの流れ

3) 防疫作業

4) 農場における防疫対策（生産者対象）

③実証展示

・照明車（国土交通省中部地方整備局高山国道事務所協力）

・家畜防疫車（H25年度導入）

参加人数：200人（岐阜県183人、三重県1人）

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成26年8月28日（木）
場所：甲賀合同庁舎、旧大鳥養鶏場
内容：

①研修

- 1) 防疫従事者の健康管理(健康福祉事務所)
- 2) 防疫作業の進め方(家畜保健衛生所)

②実演

- 1) 養鶏場施設の視察
- 2) 防護服の着脱
- 3) 鶏舎内での鶏の殺処分作業の流れ

参加人数：155人（滋賀県150人、三重県1人、岐阜県1人）

[三重県開催]

日時：平成26年9月26日（金）
場所：三重県総合文化センター
内容：

講演

- 1) 高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題
- 2) 三重県の防疫体制について
- 3) 焼埋却作業について

参加人数：181人（三重県177人）

[福井県開催]

日時：平成26年7月10日（木）
場所：福井県消防学校・自治研修所
内容：

①講習

- ・防疫対応の流れと各班の作業内容

②演習

- ・防護服の着脱
- ・鶏の取出し方と殺処分方法
- ・車両消毒

参加人数：133人（福井県87人、岐阜県2人、滋賀県4人）

[岐阜県開催]

日時：平成26年10月8日（水）
場所：東美濃ふれあいセンター
内容：

①講演「熊本県における高病原性鳥インフルエンザ発生現場での対応について」

熊本県農林水産部畜産課 村上美雪参事

②机上演習

1)「高病原性鳥インフルエンザ発生時の初動防疫措置について」
(東濃家畜保健衛生所)

2)「鳥インフルエンザの人への感染防止について」
(保健医療課)

3)「防疫職員の健康管理について」(職員厚生課)

③実動演習

1) 作業従事者の発生農場入出場の流れ

2) 防疫作業の流れ

3) 農場等での消毒作業(生産者対象)

参加人数：203人(岐阜県189人、三重県4人)

【平成27年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成27年10月15日(木)

場所：富山県民会館702会議室

内容：①岡山県におけるH27年度発生時の防疫対策

②各県の防疫対策の情報交換・意見交換

参加人数：18人(滋賀県、三重県、福井県、岐阜県から各1人)

*中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議との同時開催。

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[三重県開催]

日時：平成27年10月1日(木)

場所：三重交通Gスポーツの杜伊勢 体育館

内容：

①講演の部「口蹄疫発生の教訓と防疫戦略」

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

末吉 益雄 副センター長

②演習の部

1) 屋内演習

i) 初動対応：農家通報から対策本部の立ち上げ

ii) 防疫作業：農場入場前の防護服着用から農場内防疫作業

2) 屋外演習

i) 資材取扱：トラックによる資材輸送デモンストレーション

炭酸ガス取扱及び豚殺処分デモンストレーション

ii) 消毒ポイント：車両消毒・消毒ポイントの運営
参加人数：143人（岐阜県2人）

[岐阜県開催]

日時：平成28年1月13日（水）

場所：大垣市 西美濃農業協同組合本店

内容：

①講演「口蹄疫の教訓から学ぶ防疫戦略」

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

末吉益雄 副センター長兼防疫戦略部門長

②机上演習

口蹄疫発生時の初動防疫措置及び実動演習の概要について

③実動演習

1) 集合場所及び仮設テントの設営

2) 仮設テントでの流れ

3) 防疫作業

4) 農場における防疫対策

5) 防疫バッグを用いた殺処分家畜の取扱い

④実証展示

・防疫バッグ（太陽工業株式会社協力）

・家畜防疫車（H25年度導入）

参加人数：137人（三重県4人）

[滋賀県開催]

日時：平成27年12月2日（水）

場所：滋賀県立男女共同参画センター 大ホール

内容：

「口蹄疫発生にかかる県の防疫体制について」

滋賀県農政水産部畜産課

「口蹄疫発生時の初動防疫の流れと発生防止への取り組み」

滋賀県家畜保健衛生所

特別講演

「口蹄疫に係る国の水際防疫の状況および県との連携について」

農林水産省動物検疫所神戸支所長 守野 繁 氏

参加人数：110人（滋賀県75人、岐阜県1人）

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[福井県開催]

日時：平成27年7月8日（水）
場所：福井県消防学校・自治研修所
内容：

①講習

- ・異常鶏の通報から対策本部設置までの流れについて
- ・動員職員の留意事項と従事パターンについて
- ・発生農場の防疫作業について

②演習

- ・防護服の着脱
- ・鶏の取出し方と殺処分方法
- ・消毒ポイントにおける防疫作業

参加人数：160人（滋賀県2人）

[三重県開催]

日時：平成27年9月3日（木）
場所：三重県人権センター
内容：

講演

- 1) 「高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題」
北海道大学大学院獣医学研究科 迫田義博 教授
- 2) 「防疫体制について」 三重県農林水産部畜産課
- 3) 「焼埋却作業について」 三重県農林水産部農業基盤整備課

参加人数：227人（岐阜県1人）

[岐阜県開催]

日時：平成27年10月28日（水）
場所：可児市 岐阜県農業大学校
内容：

①講演「佐賀県における高病原性

鳥インフルエンザ発生現場での対応について」

佐賀県中部家畜保健衛生所 防疫担当係長 岸川 嘉洋先生

②机上演習

「高病原性鳥インフルエンザ発生時の初動防疫措置について」
(中濃家畜保健衛生所)

③実動演習

- 1) 作業従事者の発生農場入出場の流れ
- 2) 防疫作業の流れ
- 3) 生きた鶏を用いた取扱いの訓練

4) 農場等での消毒作業

参加人数：189人（三重県1人、滋賀県1人）

[滋賀県開催]

日時：平成27年10月2日（金）

場所：滋賀県立男女共同参画センター 大ホール

内容：

(1) 高病原性鳥インフルエンザ防疫体制について（畜産課）

(2) 実動型演習

「養鶏場でHPAI疑い事例

～県対策本部立ち上げ～初動防疫～防疫作業」

・疑似患畜決定後の動員者の防護服着脱演習（東近江保健所）

・鶏舎内作業の動画鑑賞

参加人数：145人（三重県1人、岐阜県1人）

【平成28年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成28年8月25日（木）

場所：石川県庁11階 1109会議室

<内容>

①防疫措置に備えた協力協定について

②患畜等の殺処分後の処理について

③防疫訓練の概要及び開催計画について

④防疫資材の備蓄状況について

参加人数：24人（滋賀県、福井県、岐阜県、三重県から各1人）

* 中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議との同時開催。

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[岐阜県開催]

日時：平成28年11月29、30日

場所：岐阜県中山間研究所 中津川支所

内容：埋却作業に関する実動演習

29日 埋却溝の掘削

30日 消石灰散布、ブルーシート敷設、埋却物の投入、埋戻し

参加人数：

29日 35人（岐阜県28人、建設業協会7人）

30日 51人（岐阜県43人、建設業協会8人）

[滋賀県開催]

日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）13：30～16：30

場所：アクティ近江八幡 多目的ホール

内容：

① 口蹄疫情報発信 DVD「口蹄疫を忘れない そして 前へ」鑑賞

② 滋賀県における口蹄疫防疫体制について

滋賀県農政水産部畜産課

③ 滋賀県口蹄疫防疫対応マニュアルについて

滋賀県家畜保健衛生所

④ 特別講演

「宮崎県における口蹄疫発生時の川南町の対応について」

宮崎県児湯郡川南町役場 総務課長 押川 義光 氏

参加人数：107 人（滋賀県 65 人、岐阜県 2 人）

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[福井県開催]

日時：平成 28 年 7 月 5 日（火）

場所：農業者トレーニングセンター（あわら市国影）

内容：

① 作業前の健康検診シミュレーション

② 鳥インフルエンザの発生状況および福井県の防疫体制について
（講義）

③ 家畜防疫員による防護服着脱および殺処分のデモンストレーション

④ 防疫職員による防護服の着脱

⑤ 作業後の健康検診シミュレーション

参加人数：183 人（福井県 164 人、岐阜県 1 人）

[岐阜県開催]

日時：平成 28 年 9 月 30 日

場所：飛騨・世界生活文化センター（高山市）

内容：

① 机上演習

「平成 27 年に発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応とその後の取り組みについて」

岡山県津山家畜保健衛生所 所長 山田徹夫

② 実動演習

・作業従事者の発生農場入出場の流れ

- ・防疫作業の流れ
- ・農場等での消毒作業

参加人数：151人（岐阜県144人、三重県2人）

[三重県開催]

日時：平成28年9月2日（金）

場所：三重県男女共同参画センター 多目的ホール

内容：

- ① 高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題
北海道大学大学院獣医学研究科
動物疾病制御学講座微生物学教室 教授 迫田 義博 氏
- ② 三重県の防疫体制について
三重県農林水産部畜産課
- ③ 埋却作業について
三重県農林水産部農業基盤整備課

参加人数：178人（岐阜県3人）

[滋賀県開催]

日時：平成28年10月7日（金）13：30～16：30

場所：滋賀県庁東館 7階 大会議室

内容：

- ① 滋賀県における高病原性鳥インフルエンザ等防疫体制について
滋賀県農政水産部畜産課
- ② 滋賀県高病原性鳥インフルエンザ等防疫対応マニュアルについて（鶏舎内作業動画鑑賞、防護具の着脱訓練）
滋賀県家畜保健衛生所
- ③ 特別講演
「岡山県で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫措置」
岡山県井笠家畜保健衛生所 副参事 平井 伸明 氏

参加人数：115人（滋賀県79人、福井県・三重県・岐阜県から各1人）

【平成29年度】

○家畜防疫協議会の開催

日時：平成29年8月30日（水）

場所：福井県庁2階 中会議室

<内容>

①発生事例報告

「岐阜県における鳥インフルエンザの防疫対応について」

②各県の防疫対策の情報交換

- ・鳥インフルエンザ発生時の対応について
- ・防疫訓練における昨年度の実績と今年度の予定について
- ・埋却地等の確保状況について
- ・防疫資材の備蓄状況および更新・補充について

③意見交換

参加人数：20人（滋賀県、岐阜県、三重県各1人、福井県6人参加）

* 中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議との同時開催。

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[岐阜県開催]

日時：平成29年11月30日（木）

場所：岐阜県中濃総合庁舎 大会議室及び駐車場

<内容>

①机上演習

- ・口蹄疫発生時の初動防疫措置

②実動演習

- ・消毒ポイントの設営及び消毒演習

参加人数：125名（福井県1人、三重県1人参加）

[滋賀県開催]

日時：平成29年11月17日（金）

場所：滋賀県庁 新館7階 大会議室

<内容>

①特別講演

- ・近隣諸国における口蹄疫の現状と対応

農林水産省消費・安全局動物衛生課

- ・NPO法人コメリ災害対策センターにおける口蹄疫等発生時の防疫活動

NPO法人コメリ災害対策センター 常務理事 古澤 通規 氏

②報告

- ・滋賀県における危機管理体制 滋賀県農政水産部畜産課

- ・口蹄疫発生時の初動防疫の流れと発生防止への取組

滋賀県家畜保健衛生所

参加人数：93名（滋賀県51人、岐阜県1人参加）

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[福井県開催]

日時：平成29年7月6日（木）

場所：福井県消防学校 体育館

内容：

① 講習

- ・昨年度の発生事例について
- ・防疫作業について

② 演習

- ・防護服の着脱について
- ・防疫作業（殺処分作業、消毒作業）について

参加人数：151人（滋賀県、三重県、岐阜県から参加者なし）

[岐阜県開催]

日時：平成29年9月20日（水）

場所：県庁舎特別会議室、瑞浪市役所市長公室及びスポーツ施設

<内容>

① 机上演習

- ・対策本部員会議運営訓練
- ・県対策本部報告伝達訓練

② 実動演習

- ・集合場所及び仮設テントの設営
- ・防疫作業従事者の一連の流れと役割を確認

参加人数：167名（三重県3人参加）

[三重県開催]

日時：平成29年9月8日（金）

場所：三重県男女共同参画センター 多目的ホール

内容：

① 高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題

北海道大学大学院獣医学研究科

動物疾病制御学講座微生物学教室 教授 迫田 義博 氏

② 三重県の防疫体制について

三重県農林水産部畜産課

③ 埋却作業について

三重県農林水産部農業基盤整備課

参加人数：213人（岐阜県3人）

[滋賀県開催]

日時：平成29年10月19日（木）

場所：滋賀県甲賀合同庁舎 4階会議室・駐車場

< 内容 >

① 机上演習

- ・ 高病原性鳥インフルエンザおよび危機管理体制について
- ・ 防疫対応について
- ・ 健康調査について

② 実動型演習

「動員～集合場所～テント基地」の防疫作業従事者の流れ

- ・ 集合場所での健康調査
- ・ テント基地での動線等
- ・ 車両の消毒

参加人数：167名（滋賀県 123人）

【平成30年度】

○口蹄疫等防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成31年1月31日（木）

場所：滋賀県庁 東館7階 大会議室

< 内容 >

- (1) 特定家畜伝染病の発生状況について
滋賀県家畜保健衛生所
- (2) 県の危機管理体制について
滋賀県農政水産部畜産課
- (3) 口蹄疫等発生時の防疫対応について
滋賀県家畜保健衛生所
- (4) 宮崎県における口蹄疫との闘いの記録
「口蹄疫との闘いと復興」
宮崎県・宮崎県畜産技術連盟作成

参加人数：123名（滋賀県 118人、京都府 1人、大阪府 3人、兵庫県 1人）

○高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の相互参画

[滋賀県開催]

日時：平成30年10月11日（木）

場所：滋賀県おくのの運動公園

< 内容 >

③ 机上演習

- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生状況等および危機管理体制について
 - ・ 防疫対応について
 - ・ 健康調査、防護服着脱方法について
- ④ 実動型演習
- 「動員～集合場所～テント基地～農場内防疫作業」の防疫作業従事者の流れ
- ・ 集合場所での健康調査
 - ・ 車両消毒ポイントにおける車両消毒
 - ・ テント基地での動線等
 - ・ 農場内殺処分作業模擬演習

参加人数：198名（滋賀県193人、京都府1人、兵庫県1人、和歌山県3人）

その他の連携分野【終了分】

◆災害医療

○「災害時透析マニュアル作成ガイドライン」の作成

- ・災害時の広域的な透析治療を迅速かつ効率的に行うため、各県がマニュアルを作成・改訂する際の指針となる「災害時透析マニュアル作成ガイドライン」を作成（H16.9）

◆陶磁器交流（産業連携）

○「焼物文化街道」の創造（陶磁器の交流）（H12年度～）

- ・担当者会議の開催（H15.9.19、H16.5.27、H16.7.30、H16.9.13）
- ・四県広域観光推進協議会のホームページに合わせ「焼物文化街道」のトップページを開設（H12.12～）
- ・四県広域観光推進協議会が「陶磁器」をテーマに発行するパンフレット「山海伝説」により、四県陶磁器をPR（H13.2発行）
- ・四県共同イベント事業の推進主体となる四県連携陶磁器産地交流会等推進協議会の発足（H13.4～）
- ・第3回四県共同イベントの開催（H15.10.25～26）
開催場所 越前陶芸村文化交流会館（福井県）
内 容 意見交換会、展示会、講演会、産地視察等
- ・第4回四県共同イベントの開催（H16.10.23～24）
開催場所 阿山町ふるさとの森会館（三重県）
内 容 パネルディスカッション、展示会、産地視察
- ・「第3回日本まんなか陶磁器トーク事業報告書」の発行（H16.3）
- ・陶磁器技術アドバイザー・講師リストの作成（H15.8）

◆海外連携

○海外連携の状況

- ・四県を含む中部圏9県1市の海外との交流連携状況について情報交換し、各県のホームページにおいて掲示

○海外駐在員の活用

- ・四県を含む中部圏9県1市が配置する海外駐在員の相互活用について合意。「中部9県1市海外駐在員等相互活用実施要項」施行（H15.5.8）

○国際協力の実施

- ・岐阜県で開催された第2回「地方自治体－国際協力銀行連携促進フォーラム」に四県の職員が参加（H15.3.10）
- ・国際協力、国際関連イベント等に関する情報の共有化

◆技術交流

○技術交流推進協議会の開催

- ・各県の公設試験研究機関が有する技術資源および研究開発機能について情報交換を実施

○四県共同研究の実施

- ・「高齢者の快適生活支援のための研究開発」(H13～15年度)
- ・「四県統一ブランドの日本酒の開発」(H16～18年度)

◆観光

○マスメディア等を活用したPR

- ・観光情報パンフレット・四県マップを作成し観光展来場者、マスコミ及び旅行代理店等に配布 (H12, H13)
- ・情報誌、TV番組等マスメディアを活用し、四県の魅力をPR (H12～H17)

○国内外における観光展の開催・出展等 (H12, 13, 14, 15, 16, 17)

- ・2005 上海国際旅游資源博覧会 (WTF2005) (H16)
- ・2005 杭州ジャパンフェスタ (H17)

○「日本まんなか共和国」の名称によるホームページを開設 (H12. 11～)

○広域観光ルート設定

- ・広域観光ルートを設定し、関西圏の雑誌・新聞記者を招聘 (H13)、モニターツアー実施 (H14, 15)、中国旅行エージェントを対象に四県周遊のファムトリップを実施・旅行商品化 (H16, H17)

◆職員研修

○各県職員研修の相互受講、四県合同交流研修の推進

- ・四県の研修機関による共同研究および交流研修については、職員の政策形成能力の向上や視野の拡大、新たな人的ネットワークの形成に寄与しており、事業開始後平成19年度までの8年間、さまざまな工夫や改善を加えながら一定の成果を上げてきた。今後、新しい課題を設定するまで当分の間休止する。

◆健康いきいき交流フェア

○健康いきいき交流フェアの開催

- ・介護予防、健康づくりの推進を図るため、スポーツ等を通じた四県交流健康づくり事業を開催

平成17年度 (H17. 10. 28～29) 滋賀県野洲市で開催

内容：四県交流スポーツ大会、介護予防フォーラム等

平成18年度 (H18. 11. 8～9) 三重県志摩市で開催

内容：ゆる体操、横山ガイドウォーキング

平成19年度 (H19. 9. 4～5) 福井県小浜市で開催

内容：四県交流スポーツ大会

平成20年度 (H20. 9. 17～18) 岐阜県下呂市で開催

内容：健康体験講座、四県交流スポーツ大会

◆男女共同参画

○男女共同参画研究・交流事業

各県持ち回りでサミットやフォーラムを開催し、情報交換や交流を行い各県のリーダー養成や女性の各分野へのチャレンジ拡大を図るほか、男女共同参画に関わる四県共通の課題解決に向け、施策立案に活かす研究・交流事業に取り組んだ。

- ・日本まんなか共和国女性サミットの開催（H13年度～H16年度）
（平成16年度は日本まんなか共和国男女共同参画サミットに改称）
目的：主として女性リーダーの交流事業
内容：女性リーダー意見交換、記念講演、ワークショップ、サミット宣言
- ・日本まんなか共和国男女共同参画フォーラムの開催（H17年度～H20年度）
目的：男女共同参画を推進する団体の交流
内容：記念講演、ワークショップ
- ・日本まんなか共和国男女共同参画研究・交流会の開催（H21年度）
目的：連携・協働を推進しつつ、地域づくりに参画する人材を育てる。
内容：講義、グループワーク

◆IT戦略

○四県情報担当課長会議

- ・各県の情報化への取組みや先進的事例等の情報交換、四県共同連携可能な内容の検討等を実施（平成13～20年度）

○情報通信基盤の相互接続による連携

- ・各県情報ハイウェイがJGNⅡを介して接続可能なことを実証。
また、共有可能なコンテンツやサービスの検討を行い、接続可能性と課題点を明確化（平成13～17年度）

○地方自治IT共同研修機構(ITTO)

- ・自治体の情報化推進リーダーを養成するため、四県等が連携して組織したITTOにより、パイロット研修開発研究会を開催（平成13～18年度）

○全国電子自治体会議

- ・全国の各自治体等の講演や成果の発表等を行う全国電子自治体会議に参加し、住民本位の電子自治体構築を推進（平成14,15年度）

◆女性経営者等の交流

○日本まんなか共和国・女性経営者サミットの開催

- ・女性の起業や企業等におけるリーダーシップ拡大を推進するため、四県で活躍する女性経営者による意見交換を実施（平成24年度）